

# 2023 年春学期 カルガリー大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

## 1. 授業について

### 授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

Grammar, Reading & writing, speaking & listening の3つの授業があり、grammar は毎日1ユニットずつ進み週に1回のまとめテスト、それ以外の2つの授業はユニット自体が少し長いので2週間で1ユニット、また、2週間に1回のまとめテストがあった。文法の授業は毎日ユニットを進めるので少し早く感じる。

先生が事前に用意していたパワーポイントに沿って授業を進めていく形でした。単元が終わるごとにテストがありました。grammar では、教科書を基本的に進めていっていました。writing では、短い段落を書いていました。listening では、スモールトークをよくしていたり、カナダについて学んだりしました。

基礎的な文法や読解、リスニングから始めていきました。3ヶ月間で全てのことを復習したのでなかなかハードでした。そして毎日授業が朝から夕方まできっちり詰められていました。進め方は先生によって異なりますが基本的には教科書に沿って進めていく形でした。授業を進めるスピードは自分的にはちょうど良いスピードでした。プレゼンテーションが多く、自分の英語力を発揮する機会は非常に多かったです。週に一回、もしくは2週間に一回はプレゼンテーションがありました。クラスメートと授業内でディスカッションする時間も多く、外国人と授業内でたくさん話すことができました。

少人数でコミュニケーションをとりながら進める。授業を聞くだけでなく、プレゼンなど英語で発表するときもあった。

grammar 授業では、文法メインの授業でした。その日の単元の文法を用いてパートナーとコミュニケーションをしたりゲームをしたりしました。文法は基礎知識が多く中学英語から高校英語までの復習のような感じでした。Reading & writing 授業では、主に単語の確認とライティングの解き方のコツであったり練習を繰り返す授業でした。Speaking & listening では、会話やプレゼンテーションがメインでした。

授業の進め方は基本英語を用いて、テキスト通りに進められる。プレゼンテーションやディスカッションなど頻繁に行われる。

関西外国語大学でとっていた授業と似ている部分があった。外大では文法の授業は日本人の先生がしてくれたが、カルガリー大学では、ネイティブの先生がしてくれた。また、一冊の本をみんなで協力しながら読んでいく活動が授業内にあった。これも外大では受けたことがなかった授業だった。

### クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

どのクラスも約17.18人でした。日本人留学生が6、7割と多い。メキシコ、チリ、ペルー、コロンビア、中国、韓国、ブラジルなどの国の生徒がいる。

クラスの人数は約20人でした。日本人が圧倒的に多かったです。日本人の次に、韓国人留学生が多かったと思います。他は、台湾人、スペイン人、ロシア人、チリ人などです。

クラス人数は15人くらい、日本人が8割外国人が2割、留学生の出身国は韓国、中国、メキシコ

クラスの人数は十五人程度だった。比率は6:4くらいで日本人の方が多かったです。出身国は、タイ、ブラジル、メキシコ、チリ、コロンビア、中国、韓国、パナマなど。

クラスメイト合計19人で日本人14人、留学生5人(メキシコ、ペルー、韓国、コロンビア)

1クラス20人ほどの少人数のクラスで授業を受けていました。他の日本の大学からも多くの学生がカルガリー大学に派遣されており、日本人が多かったです。私のクラスは日本人が6、7割ほどは占めていたような印象です。そして外国人留学生の出身国は中国、韓国、タイ、ペルー、ベトナム、コロンビア、メキシコ、ブラジルなどでした。スペイン語が母国語の留学生が多数いました。

クラス人数:20人程度日本人の比率:7-8割出身地:日本、韓国、ブラジル、メキシコ、チリ、トルコ、イランなど

クラス人数:約 25 人 日本人と留学生比率:日本人約 6、7 割 留学生の出身国:韓国、ベトナム、メキシコ、コロンビア、パナマ、トルコ、ペルー

クラスの人数は約 20 人、日本人は全体の 7 割から 8 割、留学生の出身国は南アメリカ大陸からの国、アジア圏、西洋からきていて、様々な国の人がいる。

平均で 15 名でした。グラマーでは、ブラジル人などの南米の方や、タイや韓国などのアジア圏のかたが多かったです。クラスにもよりますが、上のクラスにいくほど、他国の方が多く、日本人の比率は少ないように感じました。

クラスの人数は 16 人ほどでした。私のクラスにはベトナムの方、韓国、ペルー、コロンビア、スペイン、メキシコの方がいました。私の印象ではスペイン語が公用語の方の留学生が多いイメージでした。

### クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

どの授業もとても雰囲気が良くクラスメートみんなと話せる機会を先生がたくさん設けてくれた。(ディスカッション、ペアワークなど) クラスに迷惑をかける限り基本的にお菓子やご飯を食べることが許されていた。天気の良い日は外で授業をしたり、ゲームをしたりとても楽しく授業を受けることができた。また、カルガリー大学内やそれ以外でもイベントごとがあると時々授業をせずクラスメートと先生みんなでそれに参加させてくれた。

グループワークなど話す機会が多かったように感じます。日本人が多かったのでクラスの雰囲気は少し静かなときもありました。日本人以外の留学生は、積極的に発言をしている人が多かったです。

grammar のクラスは静かなで個人ワークとグループワークのハイブリッド、writing と speaking はほとんどグループ

みんな積極的に発言していた。

日本の授業と違って、質問など発言がしやすかった。

ある授業では庭に出て芝生でアクティビティをするなど開放的な雰囲気だった。

少人数クラスだったためクラス全員と話ことができ、雰囲気はとても良かったです。いつでも発言しても良い授業の雰囲気がありました。外国人留学生は自分からたくさん発言しており、最初は戸惑いました。日本人はあまり自分から発言できない人が多いと前から知っていましたが、実際に私もそう感じました。先生もみんなオープンな印象で日本より自分から気軽に喋りかけることができた気がします。先生も生徒も飲食が自由なのでその文化の違いにも少し驚きました。

フレンドリーな雰囲気、自ら進んで発言する人が多い先生も生徒を指名することはなく、進んで発言させていた。

賑やかな印象でした。比較的外国人が積極的に発言する印象でした。

明るい雰囲気非常に授業が受けやすかった。積極的に発言することが求められる。お互いに意見を聞き合い様々な考えを柔軟に受け入れることが大切である。

日本の授業とは違って、海外の人たちは、自分の意見を伝えることを大切にする文化が強いので、ペアワークや、グループでのディスカッションでは、自分の意見が言えないと、話が深まらないような印象はありました。失敗をしても気にせずに伝えようとするところが、日本人と違う大きな部分だと思います。

お腹が空いたらいつでもお菓子やフルーツを食べることができたり、先生に言わずにトイレに行ったりすることができた。他の国から来ている留学生のほうが発言していることが多かったです。

日本とあまり変わらなかった。みんな真面目に授業を受けていた。グループワークが多い授業もあった。

### 授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

family business. もし家族でビジネスをするなら?というトピックで writing をしました。少し難しかったですが、writing スキル、想像力、共に伸ばすことができたと思います。

広告が人に与える影響や、AIについて。

トレンドや AI について。

それぞれの国の文化の違いについてのトピックが印象に残っています。授業の中でそれぞれの国の文化の違いに新しい発見がたくさんあり、印象に

残っています。
色が人にどんな影響を与えるか
ボディランゲージの授業が1番印象的に残っています。国によって同じ gesture でも表現の仕方や捉え方が違うことを学びました。すごく興味深い授業でした。
どうすればビジネスを成功させることができるか考えるトピックは非常に印象的であった。他にも色が人に与える影響やそれがビジネスの成功に繋がることなど学んだ。
各国の挨拶の仕方の違い。
7月1日がカナダの建国記念日だったので Grammar でカナダについてもっと知ろう！という授業が一番印象に残っています。その授業を通してカナダの有名な食べ物、有名な人、大統領、歴史などについてクイズ形式でしました。最後はカナダの地形のパズルをして楽しみながらカナダについて知ることができたので印象に残っています。

<b>授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。</b>
たとえ大学外で、日本語で話している友達だとしてもクラスに入ったら英語で話すこと。わからないことは周りのクラスメート、または先生に聞くこと。
課題は欠かさずに行うこと。また、授業が始まる時間よりも早い時間に教室に到着していたので、予習をしたり、留学生と話して英語で会話することに慣れたりしていました。
事前にテキストを見て知らない単語などは調べてから授業に臨んだ。日本語で調べるのをやめた授業でわからないところがあれば家で復習もしくはその場で先生にきいた。
小テストがある日は前日にテスト範囲の単語を勉強したこと。
課題を忘れない。日本人同士でも必ず英語で話す。わからないところは質問する。
発言することを怖がらないこと。先生の言葉を小声でリピートすること。
日本人が多かったため、外国人留学生の近くの席に座るようにしていました。日本人同士であっても英語を話すようにしていました。そして、間違えることを恐れずに英語でコミュニケーションをとるように心がけました。
事前に予習していくことや、復習することは基本ではあるが、授業中は常に教授の伝えたいことを先に理解して頭の中で疑問に思うことなど pick up して考えていた。
新たに学んだこと、使えるなと思った単語や文法をまとめたこと。

## 2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0人	-
1人	アメリカ人、コロンビア人、
3人	メキシコ人、カナダ人、日本人。

通学手段	通学時間	人数	主に食事はどこでとっていましたか。
バス	15-30分	1	ホームステイ先
バス	30-45分	2	ホームステイ先
バス	45-60分	2	ホームステイ先
バス	75-90分	1	ホームステイ先
電車	30-45分	2	ホームステイ先
電車	45-60分	1	ホームステイ先
電車	75-90分	1	ホームステイ先

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
寝具、勉強机、椅子、ライト、クローゼット、時計、洗濯カゴ、タンブラー(ホストファミリーがプレゼントしてくれたもの) 机、椅子、ベッド、収納棚	シャンプーやドライヤー、タオルなど基本的に私しか使わないものです。
布団、バスタオル、ハンガー、ペット、机、イス ベッド、ドライヤー、机、クローゼット	シャンプー、リンス、ボディソープ、ハンドソープ、ドライヤー、歯ブラシセット。
タオル、寝具、ハンガー、鏡、洗濯カゴ、電気スタンド、机、収納、シャンプー&リンス、ティッシュ、アウター、保冷バッグ、スナック	ヘアドライヤー
机、ゴミ箱、クローゼット、本棚、ベッド	スリッパ、ハンガー

#### ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

トイレが詰まりやすいので基本的にペーパーは流すのではなくゴミ箱に捨てること。

カナダ人の昼食は、サンドイッチがほとんどということに驚きました。私の昼食はパン、サンドイッチで毎日同じ具でした。

ユニットバス、夜ご飯を食べる時間が早かったです。17時ごろに夜ご飯が出来上がっていることが多かったです。

料理の量が多かったので、食べきれないことが多かったです。日本ではほぼ毎日洗濯を回すのが一般的では、カナダでは一週間に一回なので、衣服や下着が追いつかなかったです。シャワーの操作初めての時難しかったです。

ホームステイ先の方が、キリストの方だったので、食事前に祈りがあったことは初めに戸惑いました。

食事は基本ワンプレートで出てくること。多く作って次の昼食に持っていくことが多かったです。洗濯が週1回なこと。洗濯機と乾燥機は別。

#### ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

ハウスルールにしっかり従う。また、積極的に家族とコミュニケーションをとる。休みの日にお出かけに誘われたら予定がなければかならずさんかしたり、課題が早く終わったら部屋にこもらず家族がいるリビングで過ごすなど。

積極的に家事をする、些細なことでも会話する

自分が使用したものを元々あったところに戻したり、使用した場所を綺麗にしたりすることで快適に過ごせると考える。

ホストファミリーと良い関係を築き、コミュニケーションをたくさんとることだと思います。些細なことでもすぐに連絡、報告するようにしていました。知らないことが多いと、ホストファミリーを不安にさせてしまう原因になってしまうため快適に過ごすにはホストファミリーとたくさんコミュニケーションをとるよう心がけることだと思います。

ホストファミリーに言われたことを守ること。不安なことや分からないことがあればすぐに聞くこと。

苦手な食べ物があったり、量が多かったり少なかったりしたら、遠慮せずホストファミリーに伝えてください。

パソコンは持参 しましたか	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。
はい	ワイヤレスで接続可能
はい	LAN ケーブルで接続可能

#### 大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。

私は大学が主催したアクティビティに5つ以上参加しました。アクティビティは、学校でサッカーをするなどのお金がかからないものから day trip, overnight trip などのお金が必要なものまでたくさん主催してくれました。また、サークルを探し、週に1回さんかし、現地の大学生と交流しました。

学校のアクティビティが色々あったので、バンフとウォータートンに行きました。他には、日本語を学びたい人と日本人が交流するものもありました。

JGC という日本語サークルに週一回通った

スクールアクティビティ、Japanese Conversation Club、カルガリースタンピードなど。

学校主催のプログラム、街でショッピング、外食

週末の過ごし方は、ホストファミリーが観光地などに連れて行ってくれたり友達と出かけたりしました。イベントでは、スタンピードというイベントに参加しました。テーマパークがあったり、フリーフード、フェスがあったりライブニングショーがありました。ライブニングショーでは、花火が上がりました。とても華やかで賑わっていました。

積極的に大学主催のプログラムには積極的に参加していた。また大学内の施設も充実しており非常に快適であった。

#### 学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など

学校内にあるフードコートのような大きなホールがあり、そこをよく利用していました。

図書館で仲のいい留学生と勉強したり、グループプレゼンテーションがあったので、チームメンバーと相談をしたりしました。ジムの設備が非常に整っているの、行っている人をよく見かけました。

ホームステイ先近くのスーパーやカフェ、モールなど

ジム、Tim Hortons

自由時間は図書館で勉強したり、大学内のジムを利用したりしていた。

学内ではよく使う教室棟の1階に机といすがあったのでそこで放課後課題をしたりプレゼンを制作したりしていました。放課後によくジムに行ったりリフレッシュしていました。

### 3. 留学前準備について

#### 留学前に取り組んだ準備

外国の人と話すことに慣れるため、オンライン英会話を何回か受けました。

単語が分からないと会話できないと思ったので、単語を覚えていました。

空港で使う単語などを覚えたこと。

毎日通学時間や隙間時間に英単語を覚えたり、洋画に英語字幕をつけて観たりしました。

留学に必要なものを用意することはもちろん、その国の文化などを事前に調べていった。

イディオムやスラング、リスニングの向上のために、Netflix や YouTube でリアリティーショーを見たり、単語を覚えたりしていました。

カナダの気候や文化、マナーなどをインターネットで調べました。また、大学の雰囲気や YouTube で見ていました。

文法の復習

TOEIC や TOEFL などの問題集を解いたり、文章を英語に訳したり、文化を理解するため YouTube で検索したりしていた。

### 留学前にしておけばよかったと思う準備

単語を勉強すること。

英語を「聞く」ことにももっと触れておけばよかったと思いました。リスニングは得意だと思っていましたが、いざカナダに行って現地の人の会話を聞いてみるとものすごく早口に感じました。しかし、ホストファミリーや学校側の人たちは、少しゆっくりめ話してくれるので聞き取れました。

話を聞いているときの反応、リアクションをもっと覚えておけばよかったと感じました。最初、ホストファミリーが話をしてくれている時のリアクションの仕方に少し困りました。反応の仕方をあまり勉強しておらず、リアクションについて勉強しておくことはとても大切だと思います。

英語を話す練習

日常会話のスピードが早すぎるので、それに少しでも慣れておく必要があった。また、発音の練習をエルサのアプリでしておくべきだった。

もう少し英単語を覚えて留学に挑めばよかったなと思います。

### 日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

モバイルバッテリー。一晩中携帯をコンセントに繋いで充電するのは電気料がかかるので基本的にモバイルバッテリーで充電していました。お土産は基本的になんでも喜んでくれましたが、日本の家族のアルバムや、手作りのもの(日本っぽいもの)は特に喜んでくれました。

煎餅はカナダで見かけなかったのも、お土産として喜んでくれました。乾燥するので保湿するものは必須なものと、夏でも早朝と夜は寒かったりするのでダウンコートがあつてよかったです。また、急に雨が降ったり止んだりするので、カッパか折りたたみ傘を常備しておくとな非常に便利です。

湿布(カナダでは塗るタイプしかないそうで渡したら喜ばれました)

旅行用サイズの小さい物干し。

海苔やチョコ菓子。日焼け止め。

保冷バッグ

ゴミ袋や部屋を掃除するコロコロ、ウェットティッシュ、ハンガー、薄くて軽い上着はとても役立ちました。洗濯が1週間に1回の家庭が多いため、下着は1週間分持っていったほうが良いと思います。あとは日本食を多めに持っていくと良いと思います。そして、パーティーに行くための綺麗なドレスは持って行ってよかったです。向こうで買うと値段が高かったり、露出が多かったりするものが多いので持参するほうが良いです。ホストファミリーのために日本のお菓子を持っていき、とても喜ばれました。

スーツなどのフォーマルな服は向こうで買うと非常に値段も高いので持っていくことをお勧めする。

ホストマザーへ受け入れてくださるお礼に地元のおかきと日本らしい絵が描いてある靴下をプレゼントすると喜んでくれました。

日本の化粧品などは基本高い上に、肌が弱い人には海外のものは効果が強いので、日焼け止めなどは日本から持参してよかった。洗濯を干したりしないので、洗濯ネットは役に立った。抹茶のお菓子。

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
日本のお菓子(自分用)、日本語で説明されている文法参考書	インスタントのお味噌汁や缶詰、レトルトのご飯を持っていけばよかったなと感じています。
大量の服。マスク。	風邪薬
単語帳、参考書(日本語で調べて意味を覚えても意味がない)日本食(現地で買えます)	耳かき
電気変換器を持参しましたが一度も使わなかったです。携帯の充電はそのまま差すことができたし、ドライヤーは海外対応のものを準備していたので使わなかったです。	水筒
シャンプー、コンディショナー	日本の文房具、文法書

#### 4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。

クレジットカードの上限は10万円、現金は3万円。

クレジットカード 30 万円ほど、現金 500ドル

クレジットカード30 万、プリペイドカード30 万、現金 6 万

クレジットカード 5 万円、デビットカード 30 万円

クレジットカード上限50万、現金1万5000円

クレジットカード上限 10 万円が 2 枚と現金 3 万円

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

住居はプログラム費用に含まれていたので支払っていません。食費も家で食べる場合、外であってもホストファミリーと食べる場合はありがたいことに支払ってくれたので基本的にはなし。ほとんど友達とご飯に行く時にだけでした。カルガリーでは 1 回の食事で最低で 2000~2500 円ほどでした。

外食費 5 万円

食事は基本提供されていたのでトイレトペーパーとお菓子を自分で買っていました。

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

テキスト代、定期代もプログラム費に含まれていたため現地では支払っていません。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

アクティビティや、友達と出かけたりして約 30 万ほど使ったと思います。

食べ物に月 1 万円くらい使った。

3ヶ月で 40-50 万円ほどだと思います。

お土産に 2-3 万円かかる

旅行費用は 15 万円程度。買い物は月 2~3 万程度だったと思う。

旅行に約 15 万。買い物で約 3 万。

## 5. 学習面について

### 語学力・コミュニケーション能力の自己分析

常に英語を使って生活するのでスピーキング力が特に向上したと感じます。また、徐々に使える英語が増えて自信もついたと思います。実際に最後のスピーキングテストでは先生に最初よりもはるかに自信がついたように見えると言ってもらえました。また、他の国の生徒に自分から話しかけてみたり、大学内のサークルのようなものに参加したりして、現地の大学生と交流することによりコミュニケーション力も向上したのではないかと思います。

語学力は、非常に伸びたと思います。たった3か月でしたが、実際にネイティブと話すことによって、どう返事を返したらいいのかということや留学中はわからないことだらけだったので失礼にならない質問の仕方などを学びました。コミュニケーション能力も伸びました。副詞を使ってもっと表現力豊かに出来たら、もっとコミュニケーション能力が上がったのになあと感じました。

語彙力が増え、リスニング力が向上した

最初は積極的に話しかけることを躊躇していたがだんだん自分からコミュニケーションをとることができた。

外で買い物をする際に緊張しない程度には英語力がついた。

留学前より語学力は上がったと思います。一番効果を感じるのはリスニング力です。聞き取ることができないと返事をするのも不可能になるためどんな時でも耳を澄まして聞き取るように努力していました。

文法は一度習った内容を現地のニュアンスと合わせて復習できた。リスニング力は確実に向上して、大体の内容が理解できるようになった。スピーキング力は簡単な受け答えができるようになった。

リスニング力は留学前に比べて上がったと感じました。リスニングテストはテストの成績が上がりました。留学当初は、レストランやお店に行った際店員さんの言葉が全く聞き取れず苦戦していましたが、徐々に以前よりは聞き取れるようになった気がします。コミュニケーション能力に関してはまだまだ単語を並べて話すことが多く文章であまり伝えることができなかったのもっと話せるように努力が必要だと感じました。

常に英語を用いて積極的にコミュニケーションをとっていたので、speaking の力は非常に伸びた。

語学力・コミュニケーション能力ともに留学前から上がったと感じています。最後のスピーキングのテストの練習でクラスの友達とコミュニケーションを取りましたが、相手の伝えたいことを理解することができたり、自分の伝えたいことを英語で伝えることができたりしたので語学力とコミュニケーションは上がったと感じています。

語学力はスピーキングの授業でかなり培われた。コミュニケーション能力は、最初は難しいと感じたが、だんだん慣れてきて、多くの人と話せるようになった。

### 留学前の目標とその達成度

留学前までは英語力をあげたいと漠然とした目標を持っていました。しかし、現地で過ごしていくうちに英語力の中でもスピーキングに力を入れたいと思うようになりました。学校で勉強する中で grammar, writing, reading, listening を伸ばすと感じてはいますが、自分の中ではスピーキングが1番伸ばすことができたと思います。結果的には英語力を伸ばすことができたので良かったと思います。

ネイティブスピーカーの人と会話をしたことがなかったので、まずは会話ができるようになることを目標でした。留学初日にホストファミリーと初めて会ったとき、ものすごく緊張しました。ホストファミリーが話しかけてくれても、単純に答えるだけでした。しかし終盤になると、会話のキャッチボールができました。日常生活で急に知らない人から話しかけられても会話ができました。達成度は、8割程度です。

教科書で習う英語ではなく、実際に使われている英語に触れて speaking 力を向上させたいと考えていた。留学前にくらべ自分の意見を英語でより言えるようになったと感じる。

留学先で現地の友達を作ることができたが英語でケンカできるほどではないので 65%目標達成したと思う。

自分から積極的に外国人のクラスメイトに話しかけるようにすることが私の目標でした。私は人見知りで自分から話しかけるのが苦手なほうですが、この目標は達成できたと思います。いろんな国の人とたくさんコミュニケーションをとり、いろんな文化を知ることができました。

文法は目標を達成できた。リスニングとスピーキングはもう少し現地の人と会話ができるようになりたかった。

留学前の目標はリスニング力の向上とスピーキング力の向上です。達成度はリスニングに関しては、留学前に比べて、向上した気がします。ですが、

スピーキングが今までは気が付かなかったのですが、発音のアクセントやイントネーションを先生に指摘されるが多かったのもっと勉強と発音の練習が必要だと感じました。

留学前の目標は英語を用いて、積極的に海外の人とコミュニケーションを図ることであったので十分に達成できた。

留学前は、映画を字幕なしで聞き取れるようになることを目標にし、帰国後は、一通り字幕を使わずに見れるようになり目標を達成することができました。

カナダの文化を肌で感じ、理解も深まった。ホストマザーともコミュニケーションをよく取り、お互いの理解を深めあうことが出来た。

#### 留学を通しての成長ポイント

この留学を通して、間違えることに対して抵抗がなくなったことが自分の中での大きな成長ポイントだと思っています。出発前の英語学習では、文法が間違っていたら、単語が間違っていたらと何かと完璧を求めがちでしたが、留学を通して間違いから学ぶ大切さを知ることができました。

チャレンジする力が身に付きました。初めての海外なので緊張と不安があり引込み思案になってしまいましたが、生活が慣れていくにつれ失敗は当たり前という考えに変わっていきました。そこから、店員さんや知らない人に分からないことを聞くようになりました。

ネイティブスピーカーの話す速度のリスニングができるようになったこと。

なんでもポジティブに考えられるようになった。

自分の力で問題解決をするというスキル。

ネイティブと会話することになっても、おびえることなくコミュニケーションを取ろうという勇気や意志が身についた。

リスニング力は留学前に比べて上がったと感じました。リスニングテストはテストの成績が上がりました。留学当初は、レストランやお店に行った際店員さんの言葉が全く聞き取れず苦戦していましたが、徐々に以前よりは聞き取れるようになった気がします。ホストファミリーと会話していても会話の内容が徐々に理解できるようになりました。

私は留学を通してリーディングの速読力と読解力が身についたと感じます。授業で習った方法やホストマザーと日常会話の時に出る単語などを思い出して速く読み解く力が付きました。

分からないところを聞く力。分からないところをそのままにしていた方が怒られるし、話がスムーズに進まない。

#### 留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前はずっと憧れだった留学に行けるということがモチベーションになっていました。留学に行ってから、誰かと英語で話すことがモチベーションでした。テキストを開いてする勉強ではなく、会話の中での学びがとても楽しかったです。留学後の今は、滞在していたホストファミリーに会いに行くこと、次の留学を計画することをモチベーションにもっと英語の勉強を頑張ろうと思っています。

留学前は、不安よりも楽しみの気持ちのほうが大きかったです。留学中は不安のほうが大きくなり、コミュニケーションを取るために勉強に対する焦りの気持ちが大きかったです。後半になるにつれて、気持ちの余裕ができ、会話メインの勉強をしました。留学後は、留学中に比べたらモチベーションは少し下がりましたが、TOEIC や TOEFL のために勉強するつもりです。

留学以前も積極的に外部試験を受けていたが、今後はさらに挑戦したいと思う。

留学前より留学中のほうが日常で英語を使う機会が増えたのでモチベーションが向上し留学後も語学学習に対して以前よりやる気が向上した。

留学前より明らかに語学学習に対するモチベーションは高い。とくに留学中は高かった。

自分の英語を褒められる機会が増え、もっと話せるようになりたいというモチベーションに繋がった。

留学前より外国の方とたくさん話ができるようになりたいという気持ちが強まりました。現地の方は話すスピードが本当に速いので聞き取れないことが多々ありました。悔しい思いもたくさんしたので、これからもっと英語力を高められるように頑張ろうと思います。

留学前は授業についていけるのか、上手く英語を話すことができるのか、など不安でいっぱいでした。ですが、留学中は不安や心配を考えている暇がないくらい毎日が忙しく、とても充実していました。ホストファミリーや先生、現地の人と話したりしていて、うまく言葉が出てこなかったり会話を理解することができなかったり、悔しい思いをたくさんしてきました。ですが、その悔しい思いをバネにもっともっと英語をマスターしたい、勉強したいと留学前より

も強く思うようになりました。圧倒的に留学前よりもモチベーションが上がったと感じます。

留学前は、1日に10単語でもいいので、勉強はするようにしていた。留学中は、常に英語の環境に浸っていたため、使える語彙を増やすことに集中していたので、勉強することは楽しかった。留学後も、モチベーションを落とさずに1日に1時間勉強が続けられている。

留学前は初めての外国ということもあり不安でいっぱいでした。留学中はうまくコミュニケーションが取れず、悔しい思いもしました。留学中は周りに刺激されていたので常にモチベーションは高かったです。留学後は学んできたことをおろそかにしたくないという思いで英語の勉強を続けています。

TOEICに向けて語学力をキープしたいと思っている。

#### 留学中 100%力を振り絞った瞬間

grammarのプレゼンです。ペアの学生が学校に来ない日がある日があり、プレゼンの内容をあまり理解しておらず、また、発表のスライドを作るのが遅いということがありました。連絡を取り、これをこの日までにやって欲しい、少し内容が間違っているというようなことをはっきりと伝えたことです。日本ではあまり経験したことがないことだったので大変でした。

その場で自分の意見を考えクラスで発表する際や、プレゼンテーションやwriting課題の際。

以前はプレゼンテーションがすごく苦手だったがペアの子と協力しながらプレゼンテーションを成功させることができた。

旅行に行った時に飛行機が10時間以上遅れるトラブルが発生しました。自分で航空会社に電話したり、ホテルに電話を電話したりすることが一番難しかったなと感じます。英語での電話の難しさを実感しました。

最後のスピーキングでのパートナーと会話をするというテスト。

日本語クラブで話しかける。その後もその友達とたくさん遊んでたくさん英語を話しました。

プレゼン作成。グループでの発表が多く、協力しながらやるのが意外と難しかった。

#### 留学先大学の良かった点

ロッキー山脈の近くということもあってか、BanffやWaterstonなどたくさんのアクティビティがあり、いろいろな観光地に行けたこと。大学内がとても広く、図書館や食堂などの設備が整っていたこと。

施設が非常にきれいで、充実していました。また学校主催のアクティビティがたくさんあったので、英語の上達にもなったし、記念にもなりました。

授業中に英語だけの会話だったので自分の英語力の向上につながったこと。

施設が充実していた。授業が楽しい。English only policy。

留学先大学の先生が人として魅力のある方ばかりだったこと。

大学主催のアクティビティプログラムがとても充実していた点がよかったです。アクティビティを通して日本では見ることのできない景色を見たり、新しい友達もできたりして、とてもいい経験をすることができました。

先生たちがいい人でこちらの話を理解しようとしてくれた。ジムなどの設備も完備で綺麗だった。

快適に勉強できるスペースがありました。清潔感もあり、自然豊かなので環境がとても良かったです。放課後ほぼ毎日大学で勉強して帰宅していました。

留学先の教授は積極的にコミュニケーションをとってくれるので、非常に授業もやりやすく、良い環境であった。

6段階にレベル分けされ、自分に合ったレベルでの授業が受けられることはとても良いところであると思います。

学食にはたくさんの国のご飯があったり、無料で使用できるジムがあったりしたこと。

たくさんのアクティビティプログラムを用意していたこと。泊まりがけのものなどもあり、楽しそうだった。先生も優しく、すごく褒めてくれてやる気があがった。